

“河内神社の御札”と“神宮大麻”

皆様のご家庭の「パワースポット」!



身近で生活を見守る地元の氏神様「河内神社」の御札と日本全土を広く見守る神様「天照皇大神宮」(伊勢の神宮)の御札を家庭におまつりしましょう。日々豊かな生活が送れることに感謝し、日常の様々な時に神様に手を合わせましょう。

御札・御守は新しく取り替えます。古い御札、御守は氏神様に納め、一年を無事に過ごせたことに感謝しましょう。御札・御守は河内神社で授与しております。

伊勢の神宮中大麻	12000円	社限定 携行御守	各5000円
河内神社 小大麻	8000円	交通安全御守	5000円
河内神社 中御札	10000円	開運厄除御守	5000円
河内神社 御札	5000円	合格御守	5000円
小型神棚	10000円	健康長寿御守	5000円
破魔矢(大中小)	10000円	良縁結び御守	5000円
熊手(大中小)	10000円	仕事・就職・金運・勝守	5000円
さる土鈴	8000円	各種御守	5000円
		御神籤	1000円

御札のまつり方

横に並べる場合

河内神社
天照皇大神宮
崇敬神社

重ねる場合

天照皇大神宮(手前)
河内神社
崇敬神社

重ねる場合、手前から神宮、河内神社、崇敬する神社の御札の順におまつりします。

出張祈願祭も受付

〔家庭の祈願祭〕 地鎮祭(新築)・家祓い(入居)・上棟祭
〔団体の祈願祭〕 上達祈願・商売繁盛・安全祈願・開店祭
不明なことや日時、式次第などご相談、ご予約ください。

神内敬神婦人会だより | 日の丸の小旗作り

11月24日午後、今年度から始めた「日の丸の小旗作り」。8名の参加で取りかかりました。全国敬神婦人連合会(北白川慶子会長)の依頼で、会から日の丸の紙と棒が送られてきます。紙の端に薄めたボンドを付け、棒に巻き付ける作業です。初めは、ボンド糊が落ちこち付くやら、巻いた箇所がシワになるやら。おしゃべりしながらワイワイ作業するうち要領も良くなり、500本を作り終える頃には、きれいに仕上がるようになりました。ずらつと並べた小旗を見ながら、コーヒーとお菓子でさらにおしゃべりタイム後、散会となりました。



この日の丸の小旗は、皇居での新年一般参賀の時や、外国からのお客様を迎える時に配布され打ち振られます。新年2日のニュースで、皇居の一般参賀が放映されたら、あの小旗の中に私達が作ったものもある!と思ってみることでしょう。(事務局 山田美保子)

お正月の準備

毎年12月23日(天皇誕生日)に氏子の皆様にご協力をお願いいただき、河内神社の新春を迎える準備をします。その中でも大変なのが注連縄作りと門松作りです。注連縄は、3基の鳥居用に作り替えます。餅米の稲藁を使います。地区内の農家に依頼し、植え付けから準備してもらいます。5〜6人で協力して縛っていきませんが、太いところで20cmぐらいになり、熟練の技が必要です。門松には、事前に竹を切り出します。太くてまつすぐなものを見



つけるのがひと苦勞、道まで運ぶのも大変です。先を揃えて斜めに切り、拝殿の正面両脇に備えます。飾りの松や梅なども地区の方に提供いただき、葉牡丹、南天などを加え作り上げます。役員さんをはじめ、長年の見事な技量で、ほかにはない大きく立派な門松が出来あがります。そのほか、御守や破魔矢の授与所のテント張りなど、多くの方に参加していただき、正月を迎えます。(宮司 山田茂雄)



河内神社のこよみ(平成28年)

上河内・下河内・上小深川・下小深川 藤の木・河内南彩が丘の氏神様

1月1日(祝)	午前9時	歳旦祭
2月11日(祝)	午前10時	建国記念祭
3月13日(日)	午後2時	稲荷神社大祭
4月10日(日)	午後2時	祈年祭(大祭)
4月29日(祝)	午前10時	河内忠魂社慰霊祭
7月3日(日)	午後2時	夏祭、夏越大祓、茅輪神事
7月17日(日)	午後2時	祇園祭(御旅所御神幸)
8月14日(日)	午後7時半	献灯祭
10月8日(土)	午後6時半	秋祭前夜祭(神楽奉納)
10月9日(日)	午後2時	秋祭(例大祭)
11月15日(日)	午後	七五三祭
12月11日(日)	午後2時	新嘗祭(大祭)
12月31日(土)	午後6時	除夜祭(大祓)
毎朝		日供祭
毎月1日・15日		月次祭

幸せつながる河内神社

河内神社 山田茂雄

河内神社平成26年度決算(26年4月〜27年3月)
〔繰越金〕百七十四万三千円 / 〔歳入〕八百八十八万七千円 / 〔歳出〕六百五十七万五千円 / 〔残金〕三百三十五万四千円
〔主なもの〕玉串料百四十三万円、賽銭七十七万円、御札・御守・破魔矢等三万五千円、祭典費四十八万円、神職給二百五十万円、御札・御守・破魔矢等の仕入百三十万円、会議費・雑費等百三十万円、教化費・保険・負担金等六十八万円、〔残金内訳〕予備金百五十万円、繰越金百八十五万円、決算報告は、毎年4月に監事により監査を受け、氏子総代会にて承認を受けています。